

韓国環境部プレスリリース 2020 年 1 月 11 日付

江原道華川郡および京畿道坡州市民間制限線内野生いのしし死体から ASF ウイルス検出（野生いのしし 67-69 例目）

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do?pagerOffset=0&maxPageItems=10&maxIndexPages=10&searchKey=&searchValue=&menuId=286&orgCd=&boardId=1176195&boardMasterId=1&boardCategoryId=&decorator=>

△華川（ファチョン）で 2 例目、坡州（パジュ）で 24 例目、全国的には 69 例目

環境部所属国立環境科学院(院長チャン・ユンソク)は江原道（カンウォンド）華川郡（ファチョングン）および京畿道（キョンギド）坡州市（パジュシ）民間制限線中で発見された 3 個体(華川 1、坡州 2)の野生いのしし死体で ASF ウイルスが検出されたと 1 月 11 日明らかにした。

1 月 9 日坡州市（パジュシ）郡内面（クンネミョン）の死亡野生いのししおよび 1 月 10 日坡州市（パジュシ）津東面（チンドンミョン）の死亡野生いのししは、いずれも農業従事者によって山で発見され、1 月 10 日華川郡（ファチョングン）華川邑（ファチョンウプ）豊山里（プンサンリ）の死亡野生いのししは環境部死体捜索チームによって軍部隊内の山で発見された。豊山里の発見地点は 1 月 8 日に陽性確認個体が発見されたところから約 300 メートル離れた地点だった。

坡州市および華川郡は ASF 標準行動指針(SOP)により試料採取後、防疫措置をとり、死体を埋却した。

国立環境科学院は 1 月 11 日死体で ASF ウイルス確認結果を関係機関に通知した。これで 1 月 11 日までに坡州市は合計 24 件、華川郡は合計 2 件の野生いのしし ASF 陽性事例となり、全国的には 69 件になった。

国立環境科学院生物安全研究チーム長は"今回の死体は全部広域フェンスの中で発見され、華川邑豊山里の陽性確認地点は、最近陽性個体が発見された地点と近接した地点であるから、他にも感染個体がいるのか確認するため、周辺の捜索を強化し、早急にフェンスを設置する予定だ"と話した。

以上